

◎令和7年度 横須賀市学校教育賞審査結果について

横須賀市学校教育賞は、本市の学校教育の発展振興を図ることを目的として、「研究部門」と「実践・企画部門」の2分野で論文の募集を行っています。

令和7年度は、研究部門1点、実践・企画部門に1点の応募があり、厳正な審査の結果、次のように決定しましたのでご報告いたします。

なお、受賞につきましては、「学校教育賞」（研究部門）、「教育振興賞」（実践・企画部門）が最高賞、次いで「努力賞」「奨励賞」の順となります。

【研究部門】

テーマ	応募者	審査結果
「豊かな人間性の育成」を目指した授業づくりと学級経営～心の成長・内的動機づけを経た発達のプロセスから～	池上小学校 長田 卓也 教諭	奨励賞

〈審査講評〉

「豊かな人間性」という、子どもたちが学んでいくための土台に着目した興味深い研究である。また、横須賀市の現状としても、学級経営における教師の在り方、子どもたちへの考え方については、参考になる研究である。

一方で研究者の主観的な要素があり、研究として理論的基礎はあるものの、一部表記への疑義や当該小学校の児童への分析に若干の物足りなさがある。今後継続的な取り組みと客観的視点での分析に期待する。

以上のことを踏まえ総合的に判断し、本研究は今日的な教育課題に真摯に向き合い取り組んだ研究であることを評価するとともに、今後の長期的な研究継続に期待し、「奨励賞」とする。

【実践・企画部門】

テーマ	応募者	審査結果
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して～自由進度学習がもたらす児童の意識の変化と資質・能力の向上～	池上小学校 窪田 裕次郎 教諭	奨励賞

〈審査講評〉

「個別最適な学び」「協働的な学び」「自由進度学習」という、まさに各学校で様々な模索がなされている今日的な教育課題を取り上げ、理論やデータを基に子どもの実態に合わせて取り組んだ、提案性のある実践である。

一方で「自由進度学習」について、結論からは一部の子どもが取り残されてしまっている状況がある。また、分析についても一部疑義のある箇所が見られ、算数の学習指導要領に示されている資質・能力が子どもたちの身についたかは疑問が残る。今後の更なる適切な分析に基づく実践に期待する。

以上のことを踏まえ総合的に判断し、今日的な教育課題を子どもの実態に合わせて創意工夫して行なった実践であることを評価するとともに、今後の実践の改善に期待し、「奨励賞」とする。